

カワウの巣の昆虫調査

バードリサーチ、コロニー生態学研究グループ

カワウの巣が昆虫を支える？

カワウのコロニーからは、アカマダラハナムグリなどの絶滅危惧種を含む多様な昆虫が見つかっています。大きく数も多いカワウの巣やコロニーは、近年世界中で減少している**飛翔性昆虫の発生源**として役立っている可能性があります。しかし、カワウは人の生活との軋轢によってコロニーが除去されることがあり、昆虫の重要な生息地が認識されないまま**消失**している可能性があります。

プロジェクトの目標

- コロニーにどのような昆虫が生息しているかを明らかにし、リスト化する
- カワウの繁殖時期・段階と、コロニーで発生する昆虫相や個体数の関係を明らかにする



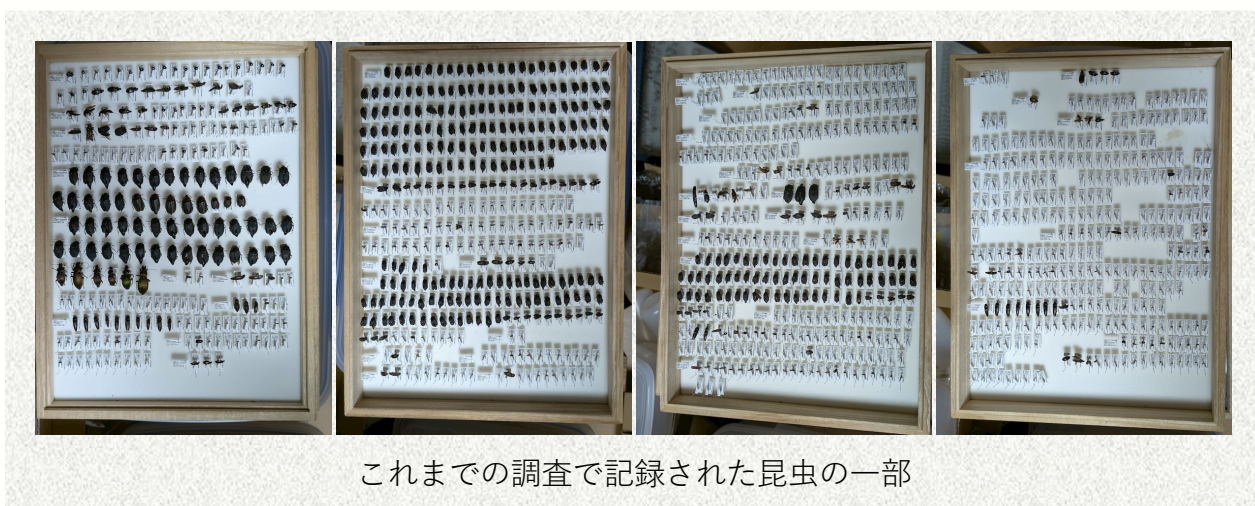
コロニーに設置する昆虫トラップ

支援金の使い途

昆虫トラップの材料、トラップ設置と回収の交通費、トラップと回収した昆虫の送料、昆虫の種同定のための謝金

2025年の調査結果

この調査は、公益財団法人自然保護助成基金によるプロ・ナトゥーラ・ファンド助成を受けて2025年に始動しました。2025年は、東日本にあるカワウのコロニー5か所とその近隣の非コロニー環境において昆虫捕獲調査を実施し、衝突板トラップで18分類群2,236個体、ピットホールトラップで25分類群14,256個体の昆虫・動物を記録しています。

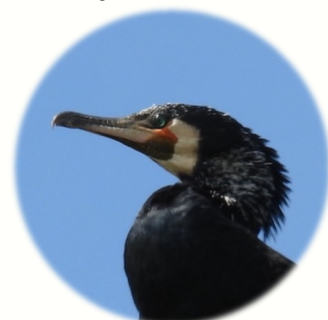


これまでの調査で記録された昆虫の一部

2026年の調査予定

これまでの調査では、各コロニーでの調査頻度を低く設定していたためにカワウの繁殖時期・段階による昆虫相や個体数の関係を追うことが難しかった。今年の調査では、コロニーあたりの調査頻度を上げて調査を実施する。

また、北海道や南九州など、これまでと違う環境にあると思われるコロニーでも調査を実施したい。



調査参加者も募集します！